福島県知事　内堀雅雄　様 ２０２１年１月１２日

遠野町の環境を考える友の会　会長　佐藤吉行

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　いわき市遠野町入遠野字天王７３－１

**いわき市遠野町に計画されている「（仮称）三大明神風力発電事業」において、当該地域の保安林解除を認めないことを求める要望書**

　いわき市遠野町に計画されている「（仮称）三大明神風力発電事業」は、昨年１２月に経済産業省の確定通知を受け、建設に向けての手続きが進められている。しかし、当会や当該地域住民の有志が何度も申し入れしてきたように、この地域は豪雨時の土石流の危険性が高いことに加え、公共水道が通ってないことから住民は表流水を始めとした自然水を生活用水として利用しているため、施設の建設により水質に影響が出て、生活に大きな支障をきたす可能性が大である。

土石流の危険性が高い地域であることは、国のハザードマップでの土石流危険渓流の指定、県の土石流危険箇所の指定、および森林管理局の崩壊土砂流出危険地区に指定されていることからも明らかであり、県・いわき市ともこの事業によって危険が増大しないとは明言されていないことから、住民は事業計画が進んでいることに大きな不安を抱えている。

この地域は一昨年の台風１９号の際、他地域に比べて雨量が特別多かったわけではないにも関わらず、多くの個所で土砂災害が認められ、いわき市内でもこの地域だけ特別に県自ら流域内調査を進めている。

また、台風１９号では同土質のおふくろの宿付近は山頂崩壊を引き起こして大災害になっている。

このことからも、県は危険性を認識しているはずで、安易にこの地域の保安林解除を容認することは住民の安全をないがしろにするものとして断じて許されるものではない。

上記の理由から以下を強く求めるものである。

1. **住民生活を危険にさらす「（仮称）三大明神風力発電事業」の計画予定地の保安林解除を認めないよう強く求める。**

**以上**